

## 研究集録を活用して、食に関する指導（学級活動）を実施してみませんか



みなさんは、今年度の研究集録（第38号）をご覧になりましたか。  
栄養士部会では、毎年、食育における実践例や、食に関する指導を行った際の指導案を掲載した「研究集録」を発行しています。

今年度の研究集録の指導案では、実際に各地区で実施された授業研究会時の指導案が掲載されています。ぜひ多くの先生方の参考にしていただきたいと思います。ですが、「授業」についてしっかり学ぶ機会の少ない私たちにとっては食に関する指導そのものがハードルの高いものになっています。

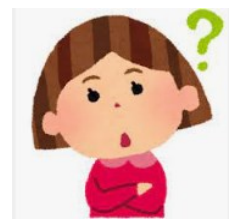
そこで、部会だよりを通して、「栄養教諭・学校栄養職員が行う食に関する指導」について掲載していきます。



### 〈Part1 「指導案」について〉

『指導案』とはどんなことが書いてあるの？と思ったことはありませんか。

学習指導案とは、「児童生徒の学びたいこと」と「教師の教えたいこと」をつなぐための設計図と言われています。児童生徒に「どのような力を身に付けさせるために」、教師が「どのような学習指導を行うのか」、授業の内容や手順を具体的に考えていくことが記載されているのが「指導案」です。（和歌山県教育ネットワーク HP 参照）



食に関する指導で考えてみると、

「児童生徒が、自分の食に関する課題を解決するために学ぶたいこと」と、  
「児童生徒の食に関する課題解決のために、子ども自身に考えさせたいこと」をつないでいくために、  
栄養教諭・学校栄養職員として「どのような内容を指導したいか」  
について記載されているのが、「食に関する指導」の「指導案」になります。

### 1 題材設定の理由 とは

「題材設定の理由」とは、どのようなことが書かれているのでしょうか。

一般的には

こういう児童（生徒）で、こういう課題があるので、本時でこういう指導をして課題を解決したいということが書かれています。

これを、食に関する指導で考えてみると、

給食について

普段の給食の様子は〇〇〇です。給食の残食は〇〇〇くらい残ります。

給食の時間の様子を見ると、〇〇〇のような様子（態度）が見られるため、この課題を解決するため本題材を設定した。

## 食習慣について

朝食についてのアンケートを実施したところ、〜〜〜という児童が多く見られた。  
特に野菜のおかずを摂取している児童は〇〇%と少ない、給食の様子を見ても、野菜のおかずを残す児童が多く見られる。この課題を解決するため本題材を設定した。

このように、児童生徒の実態を具体的に数値化して表すと、授業を実施した後に「〇人いたが〇人に減少した」など、成果がわかりやすくなります。



## 2 「ふくしまっ子食育指針との関連」とは

栄養教諭・学校栄養職員が作成する指導案には、「ふくしまっ子食育指針との関連」が記載されています。  
この、「ふくしまっ子食育指針との関連」とは为什么呢。



みなさんは、この冊子を見たことがありますか。

これは、福島県教育庁 健康教育課から発行されている「ふくしまの食育」です。

この冊子に「ふくしまっ子食育指針」が示されています。

この3月に一部改編されました。

健康教育課のHPでも見ることができます。

「ふくしまの食育」には、

- 学校における食育を推進する上での「基本的な考え方」

## I 基本的な考え方

### 本県の学校における食育は、

- 1 知育、徳育、体育の基礎となるものと位置付け、子どもたちが生涯にわたって心身ともに健康で生き生きとした生活を送ることを目指します。
- 2 子どもたち一人一人が望ましい食習慣を身に付けることができるよう、家庭や地域社会との連携のもと、教育活動全体で取り組みます。
- 3 福島の多彩な食材の理解と食文化の継承を通して、豊かな人間形成を目指します。

○ 基本的な考え方に基づいて、子ども達に身に付けさせたい「3つの目標（力）」

## Ⅱ 目標

**1** 幼児・児童生徒の発育・発達段階に応じ、食に関する知識や食を選択する力を養い、それらを生かして、自ら望ましい食生活を実践していく力「**食べる力**」をはぐくみます。

- 食事のリズムをもつ。
- 体のことを考えて食べる。
- 一緒に楽しく食べる。
- 自ら進んで食事作りをする。
- 食を通じた健康づくりに主体的にかかわる。

**2** 食をとおり、自然や人々とのかかわりの中で「**感謝の心**」をはぐくみます。

- 食にかかわる人々へ感謝する。
- 食材や器などを大切にする。
- 自然の恵みに対する感謝の心をもち、いのちを大切にする。
- 食に関する活動をとおして、主体的に人々とかかわる。

**3** ふくしまの気候・風土に根ざした食文化を理解し「**郷土愛**」をはぐくみます。

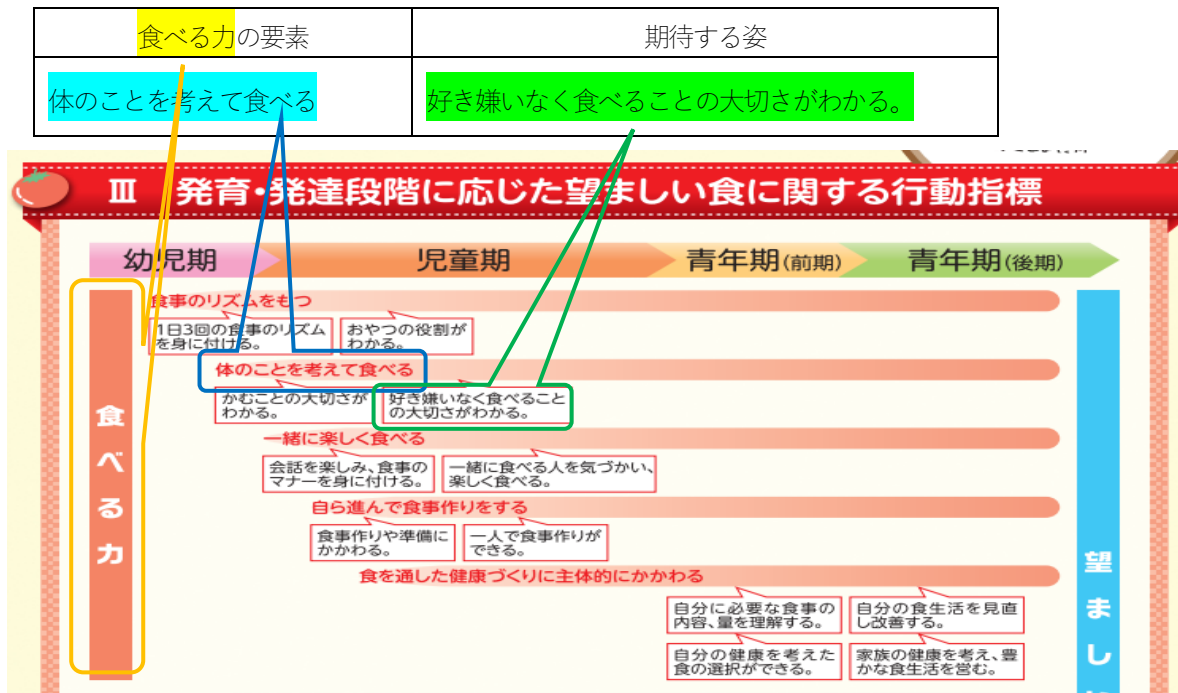
- 家庭の味を知る。
- 日本型食生活のよさを理解する。
- 地域の郷土食や行事食を知り、受け継ぐ。
- 浜通り・中通り・会津の三地方それぞれの豊かな食材と季節感あふれる食を知り、味わう。

○ 3つの目標（力）を達成するための、発達段階に応じた「望ましい食に関する行動指標」



が記載されています。

実施する食に関する指導の内容は、ふくしまっ子食育指針の「望ましい食に関する行動指標」のどの部分に関連する内容なのかを示したのが、「ふくしまっ子食育指針との関連」です。



この「行動指標」の項目をが、授業の「ねらい」とリンクさせることにより、栄養教諭・学校栄養職員が行う指導の内容をより明確にすることができます。

また、食に関する指導では、「食に関する指導の手引」に記載されている「食育の視点」と関連付けて指導を行うことも重要です。

**【食育の視点】**

- ◇ 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。【食事の重要性】
- ◇ 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。【心身の健康】
- ◇ 正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。【食品を選択する能力】
- ◇ 食べ物を大事にし、食料の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。【感謝の心】
- ◇ 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。【社会性】
- ◇ 各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。【食文化】

「食育の視点」についての発達段階に応じた行動指標（学年段階別に整理した資質・能力（例）も、「食に関する指導の手引—第2次改訂版—P21~22」に記載されていますので、参考にしてください。

